

# 第44回放送県民大学

# 現代教養講座

## 受講者募集中



愛媛県では、県民のみなさまに豊かな教養と創造力を培っていただくため、現代教養講座(放送県民大学)を下記の県下3会場で開催します。各会場ごとに講座に関する映像をご覧ください、愛媛大学をはじめとした先生方による講座を受けて、知識を深めていただきます。

### 中予会場 松山市



### 愛媛県 生涯学習センター

- 開講時間/ 10:00~12:00
- 定員/各50名\*

### 東予会場 新居浜市



### 愛媛県 総合科学博物館

- 開講時間/ 13:30~15:30
- 定員/各30名\*

### 南予会場 西予市



### 愛媛県 歴史文化博物館

- 開講時間/ 13:30~15:30
- 定員/各30名\*

10/10 日

学び舎  
えひめ

講座内容

困難な時代を生きるヒント  
～子規・山頭火・吉村昭に学ぶ～

講師

元愛媛大学 客員教授 木藤 隆雄

9/12 日

※まん延防止措置のため中止

講座内容

ソクラテスに学ぶ生と死

講師

愛媛大学法文学部 教授 松本 長彦

10/9 土

学び舎  
えひめ

講座内容

映画・音楽で愉しむGrammar  
一文法に宿る人の温もり

講師

愛媛大学法文学部 教授 今泉 志奈子

10/31 日

学び舎  
えひめ

講座内容

中国東北地方の日本語教育事情  
～旧満州から現代へ～

講師

愛媛大学国際連携推進機構  
准教授 伊月 知子

10/10 日

※新居浜市に外出注意の協力依頼のため中止

講座内容

草木の精・牧野宮太郎  
～植物に捧げた生涯～

講師

愛媛大学法文学部 教授 秋山 英治

11/6 土

講座内容

現代文化とテクノロジー

講師

愛媛大学法文学部 教授 山本 與志隆

12/5 日

学び舎  
えひめ

講座内容

地球温暖化時代を生きる  
私たちの暮らしと木材

講師

愛媛大学 副学長 杉森 正敏

12/12 日

学び舎  
えひめ

講座内容

内子座・旧金毘羅大芝居と  
シェイクスピアグローブ座  
～芝居小屋がつなぐ四国とロンドン～

講師

愛媛大学法文学部 准教授 井上 彰

12/11 土

講座内容

平家物語にみる男と女  
～小宰相と通盛を中心に～

講師

聖カタリナ学園高等学校 教諭 田中 千晶

※やむを得ず日程・講師の変更や講座の中止を行う場合がございます。最新情報はホームページ (<https://www.i-manabi.jp/>) をご確認ください。  
※新型コロナウイルス感染防止のため、定員を削減しております。ただし、今後の感染状況等により定員を変更する場合がございます。

主催：愛媛県生涯学習センター、愛媛大学

後援：愛媛新聞社、NHK松山拠点放送局、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、愛媛CATV、FM愛媛

## 愛媛県 生涯学習センター

中予会場  
松山市



**木藤 隆雄**  
(きとう たかお)

愛媛県出身。元愛媛大学客員教授。ニッポン放送アナウンサーを経てフリー。現在、愛媛朝日テレビのニュースコメンテーターの他、川柳番組にも出演。

平和な時代が一瞬にして困難な時代になった。コロナ禍、つらい日々を過ごす中、ふと子規や山頭火のことを思った。想像を絶する困難に向き合いながら、素晴らしい俳句を残した。大病を克服し作家となった吉村昭は、真実を記録することの大切さを訴え続けた。公文書を改ざんしたり大事な記録を廃棄する日本という国自体も、困難に直面していると言わざるを得ない。3人の人生を振り返り、困難な時代を生きるヒントを探してみたい。



**伊月 知子**  
(いつき ともこ)

大阪府出身。愛媛大学国際連携推進機構准教授。専門は日本語教育。留学生の日本語授業を担当する傍ら、留学生の日本就職を支援するプログラムを運営。

戦前に満鉄による日本語教育が始まり、戦中は「満洲国」の学校教育として日本語が教えられた中国東北地方は、戦後に日本語専攻を持つ大学を中心に、日本企業へ優秀な人材を送り出すようになりました。日本人によって始まった日本語教育が、さまざまな矛盾や葛藤を抱えながら現代の日本語教育に繋がっていることを、当時の教科書、教師、学習者などの視点に立ち、考えてみたいと思います。



**杉森 正敏**  
(すぎもり まさと)

埼玉県出身。愛媛大学副学長(教育担当)、農学部森林資源学コース教授。専門は、森林資源利用学。木材の見た目について光の反射・透過から研究を進めている。

1992年にリオ・デ・ジャネイロの地球サミットにおいて、森林問題に関する最初の世界的合意である「森林原則声明」が出された。その後30年経過し、地域によっては森林保全の取り組みが進んでいるが、残念ながら地球規模では、森林減少・劣化を食い止めることができていない。近年では、地球温暖化が顕著になり、私たちの暮らしへの影響が大きくなってきた。このような時代を生きる私たちの暮らしと木材との付き合い方を考えてみたい。

## 愛媛県 総合科学博物館

東予会場  
新居浜市



**松本 長彦**  
(まつもと おさひこ)

高知県出身。愛媛大学法文学部教授。専攻は哲学・哲学史、特にデカルトからカントに至るヨーロッパ近代哲学。

地球規模の新型コロナウイルスの蔓延によって、私たち人類全体が一人一人「死」に直面していると言っても過言ではありません。しかし、元来私たちは「死」に直面し続けてきました。たいていの場合は、自らの「死」について考えることを避けながら、日常を過ごしています。このような人間の在り方を鋭く指摘した哲学者としては、パスカルやハイデッガーなどが有名ですが、今回は、古代の哲学者ソクラテスの「生」と「死」についての思想を紹介することを通して、「死ぬこと」と「生きること」について考えてみたいと思います。



**秋山 英治**  
(あきやま えいじ)

愛媛県出身。愛媛大学法文学部教授。専攻は日本語学。特に愛媛県を中心に、中四国地方の方言アクセントを研究。

高知県高岡郡佐川村に生まれた牧野富太郎は、幼いころから植物に親しみ、日本人ではじめて新種のヤマトグサに学名をつけるなど、日本の植物学の発展に多大な貢献をしました。自らを「草木の精」と称し、生涯にわたって植物学の研究に打ち込んだ牧野ですが、めざましい研究業績とは裏腹に、その研究生活は不遇なものでした。「日本植物学の父」といわれる牧野富太郎はどのような生涯を送ったのか、その足跡を辿ってみたいと思います。



**井上 彰**  
(いのうえ あきら)

兵庫県出身。愛媛大学法文学部准教授。専門はイギリス文学、特にシェイクスピア時代の演劇。大学ではイギリス文学の講義と学生の海外派遣に従事。

四国では旧金毘羅大芝居や内子座が現役の芝居小屋として使用されています。そして日本から約1万キロ離れたロンドンに、1599年、シェイクスピア劇の常打ち小屋であるグローブ座が建てられました。日本の芝居小屋とグローブ座は、時代と文化の隔たりを越えて、意外にも、いや意外なほどよく似ているのです。まずは旧金毘羅大芝居から出発して、タイムトラベルした後、1600年のロンドンのグローブ座へと皆様を御案内いたします。

## 愛媛県 歴史文化博物館

南予会場  
西予市



**今泉 志奈子**  
(いまいずみ しなこ)

兵庫県出身。愛媛大学法文学部教授。専攻は哲学・倫理学、特に現象学や現象学を中心とした、芸術作品の翻訳等について研究。

「英文法」というと暗記がタイヘンだったといった印象を持たれがちで、華やかなイメージの「英会話」とは対照的です。ところが少し違った角度から光を当ててみると英文法の魅力がキラキラ輝きはじめます。「文法」は「魔法のこぼれ」という語源を持っているぐらい、人を魅惑するような不思議な力を持っているのです。美しい映画音楽、懐かしいポップスの英語詞を楽しく読み解きつつ、文法の魅力を体感していただきたいと思います。



**山本 興志隆**  
(やまもと よしたか)

滋賀県出身。愛媛大学法文学部教授。専攻は哲学、倫理学、特に現象学や現象学を中心とした現代のドイツ哲学。

私たちは「文化」という言葉とともに、それとよく似た「文明」という言葉も使います。皆さんは両者の違いを考えられたことがあるでしょうか。「日本文化」、「若者文化」と言い、また「現代文化」と言う一方で、「文明開化」あるいは「科学技術文明」という使い方をします。今回は両者の根本的な意味の違いを踏まえながら、科学技術すなわちテクノロジーが現代文化に対して持つ意味を考えていきたいと思っています。



**田中 千晶**  
(たなか ちあき)

愛媛県出身。聖カタリナ学園高等学校教諭。専攻は日本語学。方言話者の意識と日本語教授法を研究。

鎌倉時代に成立したとされる『平家物語』は、武家貴族として台頭した平家の栄華と衰退が史実に基づいて描かれています。今回は、一ノ谷の合戦で引き裂かれる小宰相と通盛の物語を中心に、『平家物語』を貫く主題である「無常」について検証していきたいと思っています。「忠臣は二君に仕えず、貞女は二夫に見えず」という言葉で締めくくられる小宰相の物語を、私たち現代人の視点で読み解いていきましょう。

○受講資格／原則として、県内に在住、もしくは勤務の方。 ○受講料／無料

○申込方法／受講を希望される方は、住所・氏名・年齢・電話番号・希望会場をご記入のうえ、窓口または郵送、FAX、メールでお申込みください。

※先着順(定員になり次第、受付を終了いたします)

※定員に満たない講座は、開講当日まで受け付けますので、お問い合わせください。

※Webからのお申込みをご希望の方は生涯学習センターホームページ(<https://www.i-manabi.jp/>)、『令和3年度コミュニティ・カレッジ』の申込みフォームよりお申込みください。

○受講の決定／受講できる場合は、特にご連絡いたしません。講座当日会場へお越しください。

●講座の中止について／新型コロナウイルス感染症拡大防止のため講座を中止する場合があります。中止の場合、補講は行いません。

●その他／受講の際は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためマスクの着用、手指アルコール消毒などの感染症対策にご協力ください。

会場	お申込み・お問い合わせ先
愛媛県生涯学習センター (松山市) 所在地: 愛媛県松山市上野町甲650番地	愛媛県生涯学習センター 〒791-1136 愛媛県松山市上野町甲650番地 TEL(089)963-2111 FAX(089)963-4526 Eメール top@i-manabi.jp ホームページ <a href="https://www.i-manabi.jp/">https://www.i-manabi.jp/</a>
愛媛県総合科学博物館 (新居浜市) 所在地: 愛媛県新居浜市大生院2133-2	
愛媛県歴史文化博物館 (西予市) 所在地: 愛媛県西予市宇和町卯之町4-11-2	